

# いちばんぼし☆

第1学年  
学年日より  
NO.2  
H28.4.13

## 歓迎されて気づくこと～対面式～

対面式が行われました。まずは、小田北中学校の先生方の紹介です。中学校では小学校と違って教科ごとに担当の先生が代わります。国語には国語の先生。数学には数学の先生。小学校のように同じ先生が何教科も教えるということはありません。たくさんの先生方が自己紹介をしてくださいましたが、名前と顔を覚えることはできましたか？

その後は、小田北O×クイズです。仮装した司会がキミタチを盛り上げてくれました。まだ2日目で緊張感あふれるキミタチでしたが、たくさん問題をみんなでワーキャー言いながら考えました。

さて、なごやかな時間は何気なく過ぎていきましたが、キミタチはこの対面式のすごさに気づいたでしょうか？実はこの対面式、全て小田北中学校の先輩たちが自分たちで運営しているものです。企画したのもキミタチの先輩。マイクを持って司会をするのもキミタチの先輩。仮装して盛り上げるのもキミタチの先輩。先生たちが前に立って指示を出す場面は一度もありませんでした。

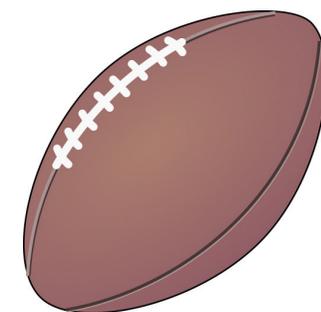
2年生3年生の先輩たちってすごいですね。先輩たちだって最初からこんなことができたわけではありません。この小田北中学校で一生懸命学んだ成果なのです。そんな先輩たちの手作りの対面式。なんだか心がとてもあたたかくなりますね。少しだけ見方を変えると、いろいろなことが見えてきます。対面式の楽しい時間は、キミタチを歓迎するために先輩たちの工夫と努力がいっぱい詰まっているのです。先輩たち、ありがとう！



## 慣れないときはまず形から

学年集会では、清水先生から「ルーティンを大切にしたい」という話をしてもらいました。「ルーティン」とは「無意識に行う決まり切った手順」のことを言います。ここ1年でルーティンという言葉は、ずいぶん世間に広まりました。ラグビーの日本代表である五郎丸選手がキックをする前の一連の動作（お祈りのような動き）で有名になりましたね。学校生活の中にはさまざまなルーティンがあります。たとえば、授業の前にはみんなそろって起立・気をつけ・礼をする。たとえば、集団の前で先生が話をしようとした時は、みんな前を向いて背筋を伸ばす。たとえば、登校したらすぐに荷物を机の中に入れてカバンを棚（たな）に入れる。慣れないうちは、なんだかしっくりこないかもしれませんが、そのうちそれがキミタチのルーティンとなってきます。

ルーティンを行うことで、どんな効果が得られるのでしょうか。五郎丸選手の一連のお祈りのような動作には何の意味があるのか聞いたことがありますか？五郎丸選手がペナルティーキックやコンバージョンキックを蹴（け）る時、会場にいるすべての観客の視線が五郎丸選手ひとりに注がれます。きつものすごく緊張するんでしょうね。日本代表になるような選手でも、心を落ち着かせてボールを蹴ることは相当難しいことなのです。そこで「ルーティン」の出番がやってきます。毎回同じ動作を繰り返すことによって、心を落ち着かせて集中できる世界を作っていくのです。キミタチは五郎丸選手ではありませんが、中学校で身につけねばならない様々なことをルーティンとして早く習慣化してしまうと、学校生活もずいぶん楽になると思います。



## 学校生活の3つの柱

- ・時を守る
- ・場を清める
- ・礼を正す

小田北中学校には、みんなが気持ちよく学校生活を送るために意識しておかねばならないことが3つあります。「時を守る」「場を清める」「礼を正す」の3つです。「時を守る」…遅刻しない。チャイム前に行動する。提出物の期限を守る。「場を清める」…教室や校舎をきれいに使う。使ったとはちゃんと掃除する。「礼を正す」…きちんとした敬語を使う。親しき仲にも礼儀あり。この3つを心がけて学校生活を送りましょう。

